

レクチャーとワークショップ

「子どもを見る」ということ

— 質的研究としての観察法を考える —

2025年1月21日（火） 13時～15時30分

広島大学教育学部 G205教室 参加無料

子どもの教育・研究に関わっている方であれば

どなたでも参加できます。

（オンラインによる視聴も可能です）

人を対象とする研究においては、多くの場合、
対象となる人をよく観察することが求められます。

しかし、観察当初は何を見れば良いのか分からな
かったり、見たい・知りたいことが多すぎて焦点化でき
なかったり、そもそも「観察する」とは何なのか、とい
った問いにぶつかったりすることもしばしばあります。

本ワークショップでは、質的研究の立場から、

「子どもを見る」ことについて

皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講師

いはら さゆり

伊原 小百合 先生



玉川大学教育学部乳幼児発達学科講師。

乳幼児期の音楽教育学を専門とし、楽器を自由探索する子どもの観
察研究を主な研究テーマとしている。

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。同大学院修士課程、博士課程
（音楽教育）修了。博士（学術）。

著書に『探索して音に出会う：音・楽器で遊ぶ幼児の事例から』
（単著）、『わたしたちに音楽がある理由』（共著）等がある。

保育士資格、中学校専修免許・高等学校専修免許（音楽）をもつ。
研究活動のほか、東京文化会館ワークショップ・リーダーとして音
楽ワークショップの企画や出演をされており、最近はろう児向けの
ワークショップを手掛けている。

趣味はアイルランド伝統音楽の演奏と民族楽器収集。

参加ご希望の方は、1月14日（火）までにフォームでお申し込みください。

<https://forms.gle/vaRbzuQ3iwGKfhX2A>

※当日は、ノートパソコンをご持参ください。

